

今月の安全運転管理

一人ひとりを知って 適切な安全運転指導

①運転者一人ひとりに合わせた指導を行おう

- 個別指導に向けて運転適性検査を実施しよう
- SDカードの全員取得に取り組もう

②自転車との事故を防止しよう

- 交差点での対自転車事故を防止しよう



個別指導に向けて 運転適性検査を 実施しよう

ドライバーへ運転アドバイスを行うには、個々のドライバーの特徴を知ることが不可欠です。そこで運転適性検査を実施してみましょう。

運転適性検査は、運転者の性格や判断力などを多角的に測定して、運転での個々の癖や注意点を客観的に見出し、どのような状況でミスをしやすいのか、どのような点に注意すべきかなどの運転の課題を明確にするものです。

運転適性検査を実施して、個々の運転者の傾向を把握することで、より適切なアドバイスを行うことができます。

またドライバー自身も運転の弱みを理解して、それを意識した運転をすることで事故防止につながります。

SDカードの全員取得に 取り組もう

SDカードは、自動車安全運転センターに無事故・無違反証明書または運転記録証明書を申し込んだ際、一年以上無事故・無違反のドライバーに発行される、安全運転者であることを示すカードです。

SDカードを持っている方に優遇サービスを行っている店舗もあり、県内でもSDカードを提示することで、食事代や宿泊代の割引などが受けられる場合があります。

従業員に対して、SDカード取得の意義を伝え、従業員全員の実取得を目指しましょう。



SDカード優遇店

交差点での 対自転車事故を 防止しよう

県内の自転車事故全体の約八割が交差点内で発生している。

ます（令和七年）。

自転車は免許がいらず気軽に乗れる反面、遵法意識に欠けた運転をする人が少なくありません。

自転車運転者の約八割に、信号無視や一時不停止などの法令違反があったというデータもあります。

交差点通過時に漫然と運転していると、自転車の飛出し等に対応できずに衝突する危険があります。

自動車の運転者に対して、交差点に接近したときは、自転車の飛出しを予測して減速するとともに、十分な安全確認をして慎重に通過するよう指導しましょう。

また、自転車に乗る人に対しては、一時不停止や信号無視といった交差点事故につながる危険な運転をしていないか振り返るとともに、交通ルールをしっかり守るよう指導していきましょう。くわえて、万が一の事故に備えて、ヘルメットを着用することを呼び掛けましょう。